

第7回養老町子ども議会

令和5年11月22日(水) 午後4時より
養老町役場 4階議事堂で開催



第7回養老町子ども議会が養老町役場議事堂で開催された。

高田・東部両中学校の3年1名ずつが議長となり、また、各クラスの代表12名が議員になり、養老町の将来について自分たちの考えを提案発表した。

生徒は町の課題をあげ、アンケート調査や、ポスター制作、動画制作などに取り組んできた。

中学校2年生の生徒及び先生は、議場内で傍聴し、保護者及び議員は、4階大会議室でライブ映像により傍聴した。

中学生は各クラスで話し合いを重ね、分析・調査をし、まとめた意見や提案を緊張しながらも、堂々と発表し



た。それに対し、町の担当課より現在取り組んでいることを踏まえ、感想を述べた。

中学生の主な意見・提案

・養老町の魅力を発信するためのポスターを制作し、商店等に掲載する。

・アートの力で商店街を活性化させる。

・ターゲットを10代にし、自然を生かした施設やカフェを作る。

・養老町の特産品PR動画やポスターを作成する。



中学生の感想

・養老町のPRが弱いので、町民の意見を反映するPRがとても良いと思いました。

・養老町はただ住んでいる土地だったけれど、産業や教育に目を向け、関係のないことではなく、養老町の未来を託された若者の一人として身近なものであるという考えに変わりました。

・より良い養老町を作り上げるには、養老町民みんなが協力することが必要だと思いました。

・町のために、行事やボランティアに参加していきたいです。

・選挙権を持った時、一人一つの権利を無駄にせず、投票に行き、行政に関心を持っていくことと感じました。

・養老町をより良くするため、政治にも積極的に参加したいと思っています。

(教育委員会に届いた感想一部抜粋)

子ども議会参加者にインタビュー

高田中学校 代表
3年1組発表

「養老町の魅力発信ポスター制作とシャッターアートで高田商店街を活性化」(12月7日取材)(敬称略)



高田中学校 栗田 宗一郎

栗田：閉店したお店があつて寂しいので、ちょっとでも明るくしたいという声クラスで多くありました。

Q 頑張ったことは？

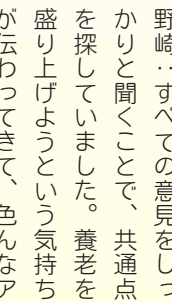


高田中学校 幸田 華乃

幸田：ポスター制作です。養老町に行きたいと思ってもらえるように、魅力を伝えられるようなイラストを

何回も話し合っって、時間をかけて作りました。

議長として心がけたことは？



高田中学校 野崎 優一郎

野崎：すべての意見をしっかりと聞くことで、共通点を探していました。養老を盛り上げようという気持ち

Q 議長席に座った時の印象は？

野崎：生徒たちは前に見えるんですけど、横を見たら大人たちがいっぱいいて圧が…。(笑)

またあの席に戻りたいという気持ちはある？

野崎：うん(笑)

取材をして、発表した中で、苦労した点は？

栗田：僕たちはポスターを作ったんですけど、生徒が直接行ったんじゃないかと、担任の先生にお願いしに行つてもらつて、町内寄りになつてしまい、町外へのポスターの掲載ができなかった。先生は養老鉄道にも声をかけてみたらと言つてたけど、できなかった。もっと広い所へ知らせなければ良かったなと思ひました。難しかったです。

子ども議会が終わったからの変化は？

栗田：近所の方から「こんなふうに中学生が養老町を盛り上げようとしてくれてありがとう」というようなことを言ってもらえて、行動が知ってもらえたことで、ありがたいなと思ひました。

子ども議会が終わって、こうすればよかったと思うことは？

幸田：養老町に対して中学生がどういう活動をしているかを知ってもらえる機会が増えたので、良かったかなと思ひます。

私たちがインタビューしました



委員長 清水 由美子



副委員長 吉田 太郎

宮島：養老鉄道では養老百景などの取り組みをしていることが分かったけど、オ



東部中学校 宮島 愛子

東部中学校 代表
3年3組発表



東部中学校 末谷 彰大

末谷：私たちのクラスは建設課に興味がある人が多く、この提案にしました。建設課の方のお話を聞いて、周辺のスポットを活用した取り組みを増やしていくことで、養老鉄道やオンデマンドバスを利用する人も増やせると思つたからです。

Q 調査で難しかったことは？

末谷：みんなの気持ちとかが伝わるように、司会進行が乱れず、原稿を一言一句はつきりと言へるように努めました。

議長として心掛けたことや注意したことは？また議長席からの印象は？



東部中学校 天野 竣介

議長として心掛けたことや注意したことは？また議長席からの印象は？

天野：みんなの気持ちとかが伝わるように、司会進行が乱れず、原稿を一言一句はつきりと言へるように努めました。

議長席に座ると全体が見えて、政治の中心にいるような感じでワクワクしました。(おー、という声とうなずき)

野崎：「養老町をより良くしよう」と行動しているのは「すごい」と言われました。

自分たちが取り組んだ後の養老町は見え方が違うというか、別の角度から見えたので、良かったと思ひます。

本来自ら商店街が活気がないやダメだけど、みんなが何とかしようと、ポスターとかアートを提案してくれて、ありがたい。議会としても何とかできるような努力したい。その時は、皆さんにその絵を描いてほしいなと思う。若い子の発想がいい。

また議長席に戻りたいと言ってもらい、心強く思ひました。ぜひ引き続き町のことを考えてくれれば、本当に嬉しく思ひます。

子ども議会が終わって変わったことは？

末谷：僕はめっちゃ緊張して、最初はカミカミで、早くなくなってしまつたりで、自分の中ではもつとこうしたいのに、もつとわかりやすく工夫できたのに、緊張しすぎて、話をどんどん進めてしまい、他のみんなのように喋ればよかったなと思ひました。

子ども議会が終わって変わったことは？

末谷：子ども議会について準備をしていく中で、例えば国会とか、発表する前の準備がすごく大事だなというのを、実感しました。

子ども議会が終わって変わったことは？

天野：最近公民の授業で自治体を勉強して、公共団体だけじゃなく、国も運動して、自分たちの声が届いているんだと、議会を通してそういう体験ができたことはいいなと思ひました。

まだまだ若いから、色々な経験をもつとしていつか欲しいなと思ひます。そうした経験をしながら、養老町のためにも頑張ってもらいたい。

また、18歳になり選挙権を持つたら、この経験を生かして、ぜひ選挙に行つてほしいと思ひます。



様々な年代の人に気軽にスポーツを楽しんでもらえるような、ルール説明動画を作成。

・ルールが簡単なスポーツを提案。

・タブレット端末のさらなる効果的な活用を。

・「スマイルげんちゃん」の次なるご当地キャラクターを提案。

・子どもが利用したいと思う公園づくりを。

・町の子育て関連事業をより多くの人に知ってもらうため、PR動画を作成。

・養老鉄道やオンデマンドバスを多くの人に利用してもらえようSNSの利用。